令和８年度３月医学院修士課程修了見込者用

修士論文提出等マニュアル

医学系事務部総務課医学院教務担当

目　　次

修士論文提出手続き等 ····· 1

１．修士論文提出～学位授与までの日程 ····· 1

２．修士論文関係書類等 ····· 1

３．修士論文提出・審査等について ····· 1

４．その他 ····· 2

医学院修士論文提出・審査要項 ····· 3

各種様式（医科学コース） ····· 6

各種様式（公衆衛生学コース） ····· 9

各様式記入例 ····· 12

修士論文作成の手引き ····· 16

修士論文申請手続き照会・提出先

医学系事務部総務課医学院教務担当
TEL　直通０１１－７０６－７７１６
内線７７１６
FAX ０１１－７０６－８８０７
E-mail:d-tanto@med.hokudai.ac.jp

修 士 論 文 提 出 手 続 き 等

1. 修士論文提出～学位授与までの日程

（１）修士論文及び各種書類の提出
（２）医学院教務委員会（審査委員選出）
（３）公開発表
（４）医学院教務委員会（修了審査）
（５）最終審査教授会
（６）学位記授与

修了期	修士論文等 提出期限	医学院教 務委員会	公開発表	医学院教 務委員会	最終審査 教 授 会	学位記 授与日
３月修了	１月８日（金）	１月中旬頃	１月27日(水)～２月３日(水) 別途照会予定	２月中旬頃	２月１８日(木)	３月２５日(木)

2．修士論文関係書類等

（１）提出先：医学系事務部総務課医学院教務担当
（２）修士論文等提出期限までに提出する書類
□修士論文提出に係る指導教員承認書（様式１）・・・・・・・・・・・・・・・１部
□修士論文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４部（簡易製本）
□修士論文内容の要旨（様式３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５部

＜留意事項＞
① 修士論文の作成方法については、p16-24 の「修士論文作成の手引き」を参照すること。
② **修士論文の表紙（様式２）**については、修士論文等提出期限までに別途医学院教務担当（d-tanto@med.hokudai.ac.jp）宛**メール添付にて送付すること**。
③ 公開発表終了後、修士論文に修正が生じた場合は、修正後の修士論文を**簡易製本で１部**、次の期日までに医学院教務担当へ提出すること。

修了期	３月修了
提出期限	２月１２日（金）

（３）公開発表における資料
配付用資料及び提示用資料（パワーポイント等による投影用）について、外国人留学生の「公開発表演習（共通コア科目）」履修に配慮し、**英文又は和文・英文併記により作成すること**。
なお、資料の様式は任意とします。

（４）公開発表終了後、審査員主査が提出する書類（別途医学院教務担当から通知）
・修士学位論文審査報告書（様式４）
・修士学位論文審査の要旨（様式５）

3．修士論文提出・審査等について

修士論文の提出及び審査等に関しては、「医学院修士論文提出・審査要項（p3-8）」として順次記載してあるので、**必ず熟読**の上、手続き等について遺漏のないよう留意すること。

４．その他

各種様式については、医学院教務担当までお問い合わせください。

なお、各種様式の記入例については、本マニュアル「各様式記入例（p12-15）」として掲載しているので、参照の上、作成すること。

医学院修士論文提出・審査要項

北海道大学大学院医学院（以下「本学院」という。）規程第11条第１項及び第２項の規定における修士論文（以下「修士論文」という。）の提出及び審査に関しては，関係諸規程に定めるもののほか，この要項の定めるところによる。

１．修士論文提出に係る提出書類

修士論文の審査を受けようとする者は，指導教員の承認を受けて修士論文及び修士論文内容の要旨を提出する。

２．修士論文等の提出期限

修士論文等の提出期限は，北海道大学学位規程の運用に関する細則第２条に規定されている期日ごとに学院長の指定する期日までとする。

また，本学院規程第11条第１項ただし書きによる短縮修了の審査を受けようとする場合の修士論文の提出期限についても同様とする。

３．修士論文等の提出部数

修士論文提出者は，指導教員の承認書（様式１）を添えて次の部数を提出する。

⑴ 修士論文　４部（正本１部，副本３部）

⑵ 修士論文内容の要旨　５部

４．修士論文等の体裁

修士論文等の体裁は，次のとおりとする。

⑴ 修士論文は，日本文又は英文とし，Ａ４判縦長に表紙（様式２）を付け，左綴じとする。

⑵ 修士論文内容の要旨（様式３）は，3,000字以内，英文の場合は1,200ワード以内とする。

⑶ 修士論文本文及び修士論文内容の要旨は，パソコン又はワードプロセッサー等により作成するものとし，活字の大きさは，12ポイント程度で１ページあたり40字／40行を目安とし，ページを下中央に付す。

５．審査委員

修士論文の審査委員は，３名以上（主査１名及び副査２名以上）とし，主査は，論文提出者が所属する教室の医学院学位論文指導教員の資格等に関する申合せ第２に定める指導教員をもって充て，副査は，主査と異なる本学院の教授，准教授又は講師をもって

充てる。なお，病院の教員については，本学院を担当する者に限る。

また，審査をするうえで必要と認めるときは，上記の審査委員に次に掲げる者を加えることができる。

(1) 連携講座又は連携分野の客員教授及び客員准教授

(2) 大学院医学研究院寄附分野の特任教授及び特任准教授

(3) 他の研究科等の研究指導を担当する教授，准教授又は講師

(4) 他の大学の大学院又は研究所等の教授，准教授又は講師

(5) 大学院医学院教授会（以下「教授会」という。）が特に認めた者

なお，審査委員は，指導教員が推薦する審査委員候補者を参考に，大学院医学院教務委員会（以下「教務委員会」という。）が選出し，教授会に報告する。

６．修士論文発表会及び審査

修士論文提出者は，修士論文審査のため，公開の論文発表会において修士論文の発表を行う。論文発表会の日時は，学院長が指定する。

審査委員は，論文発表会において，当該発表者の司会進行を担当し，修士論文を審査するうえで必要と認めたときは，論文発表会以外においても，修士論文提出者に修士論文に係る口頭試問を課すことができる。

７．審査報告

審査委員は，論文発表会終了後，協議のうえ，審査報告書（様式４）に審査の要旨（様式５）を添付し，学院長に提出する。

８．合否判定等

学院長は，審査委員から提出された審査報告書とともに，修士論文の合否の判定を教務委員会へ付託する。

教務委員会は，付託された修士論文の合否の判定を行い，学院長に報告する。

上記の報告を受けて学院長は，修士課程修了の可否を判定する教授会において，当該修了予定者の修得単位と合わせて報告する。

９．修士論文の保存

修士課程修了者の修士論文は，大学院医学研究院・大学院医学院・医学部図書館で保存し，請求に応じて閲覧に供する。

10．短縮修了

本学院規程11条第１項ただし書きにより，在学期間を短縮して課程を修了する予定の者は，修士論文に第一著者として掲載又は掲載されることが確約されている１編以上の

基礎論文（Clarivate Analytics社 Journal Citation Reportsのインパクトファクターが附与されている英文雑誌に掲載されたもの）を添付しなければならない。ただし，基礎論文は本学院修士課程在学中に行われた研究内容を主体としていること。

附　記

この要項は，平成29年４月１日から実施する。

附　記

この要項は，平成31年４月１日から実施する。

（様式１）

令和　　年　　月　　日

医 学 院 長　殿

指導教員　　㊞

修士論文提出に係る指導教員承認書

別添の修士論文につきましては、下記学生に対して私が研究指導の上、修士学位論文として提出することを承認したものであります。

記

修士論文提出者

学生番号

氏　　名

修 士 論 文 題 名

「　　」

（様式２）

令和　　年　　月

北海道大学大学院医学院

医科学専攻修士課程

修士学位論文

論文題名

「　　」

提 出 者：

所属教室：

指導教員：

（様式３）

修 士 論 文 内 容 の 要 旨

修士の専攻分野の名称　　修　士（医科学）　氏名

修士学位論文題名

「　　」

（様式１）

令和　　年　　月　　日

医 学 院 長　殿

指導教員　　㊞

修士論文提出に係る指導教員承認書

別添の修士論文につきましては、下記学生に対して私が研究指導の上、修士学位論文として提出することを承認したものであります。

記

修士論文提出者

学生番号

氏　　名

修 士 論 文 題 名

「　　」

（様式２）

令和　　年　　月

北海道大学大学院医学院

医科学専攻修士課程

修士学位論文

論文題名

「　　」

提 出 者：

所属教室：

指導教員：

（様式３）

修 士 論 文 内 容 の 要 旨

修士の専攻分野の名称　　修　士（公衆衛生学）　氏名

修士学位論文題名

「　　」

各様式記入例

（様式１）

令和　　年　　月　　日

医 学 院 長　殿

指導教員　〇　〇　〇　〇　　㊞

修士論文提出に係る指導教員承認書

別添の修士論文につきましては、下記学生に対して私が研究指導の上、修士学位論文として提出することを承認したものであります。

記

修士論文提出者

学生番号　５２〇〇３〇〇〇

氏　　名　〇　〇　〇　〇

修 士 論 文 題 名

「□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□」

（△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△）

※　論文題名が英文の場合は、（　）書きで和訳をつけてください。

（様式２）　削除

令和　　年　　月

北海道大学大学院医学院　　令和９年３月と記入

医科学専攻修士課程

修士学位論文

論文題名

「□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□」

（△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△）

※　論文題名が英文の場合は、（　）書きで和訳をつけてください。
また、修士論文提出後、この表紙のみ医学院教務担当へメールで送付してください。(医学院教務担当 E-mail : d-tanto@med.hokudai.ac.jp)

提 出 者：　〇　〇　〇　〇

所属教室：　△△△△△△教室

指導教員：　〇　〇　〇　〇

指導教員名の後ろに「教授」等の役職を付けないこと。

（様式３）

修 士 論 文 内 容 の 要 旨

修士の専攻分野の名称　　修　士（医科学）　　　氏名　○　○　○　○

変更不要　　　　又は（公衆衛生学）

修士学位論文題名

「□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□」

（△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△）

※　論文題目が英文の場合は、（　）書きで和訳をつけてください。

　□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□
□□
□□
□□
□□

＊　内容の要旨は、日本語の場合は**3,000 字以内**、英語の場合は**1,200 ワード以内**とし、**Ａ４判２ページ**にまとめてください。

＊　用紙の余白は、左 25㎜、右 20㎜、上 20～25㎜、下 20㎜ を目安としてください。

＊　文字は 12 ポイント程度で 1 行 40 文字、40 行を目安としてください。

□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□
□□

●●●修士論文作成の手引き●●●

修士論文とは

1) 修士論文の特徴は、申請者が研究を遂行するに当たって直面した様々な困難にどのように立ち向かい、論理的な結論に達したかという思考過程を重視する点にあります。従って、その思考過程とそれにより生じた結果を記載することが重要です。

2) 複数のテーマが存在する場合には、それぞれのテーマがどのように関連しているかを論理的に説明して頂く必要があります。

3) 基礎的事項の説明、詳細な研究背景、基礎実験やパイロット実験の結果（例え結果がネガティブであっても構わない）などが必ず記載されていなければなりません。

4) 本文は、和文または英文は問いません。ただし、いずれかで統一してください。

5) 本文が和文の場合は和文の主題目を、本文が英文の場合は英文の主題目を付けてください。なお、主題目が英文の場合は和文の副題目を括弧内に記載してください。
例：【本文が和文の場合】
○○○における○○した○○に関する研究
【本文が英文の場合】
Studies on ○○○ ○○ at the ○○ ○○ in ○○
（○○○における○○した○○に関する研究）

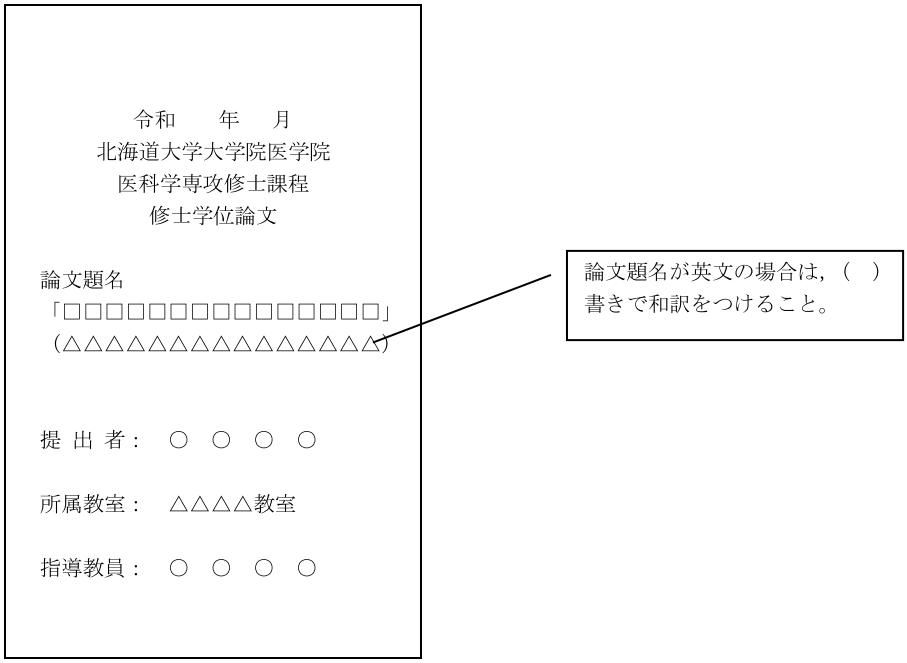
修士論文の構成

次の A) ~ M)の項目から構成されます。

ページ番号は下中央に付すこととし、「発表論文目録および学会発表目録」を第１ページとして、以下順番に付けて下さい。本文は、1 ページ 40 行（和文の場合 1 行 40 字）を目安とし、文字サイズは 12 ポイント程度で作成してください。また、和文には明朝体、英文には Times 系（Times New Roman 等）のフォントを使用してください。なお、専門用語や物質名等和文中で用いる英単語にも Times 系のフォントを使用してください。

A) 表紙

様式２を記入例（本マニュアル p14）に従い作成の上、表紙として下さい。



B) 目次

C)~M)の各項目の名称を記載するとともに、それぞれが始まるページ数を記載して下さい。F)【注意】に示したように章立てする場合は、章毎のサブタイトルも含めてください。

＊作成例＊

目　　次

発表論文目録および学会発表目録 …… １頁
要旨 …… ○頁
略語表 …… ○頁
緒言 …… ○頁
方法 …… ○頁
結果 …… ○頁
考察 …… ○頁
結論 …… ○頁
謝辞 …… ○頁
利益相反…… ○頁
引用文献 …… ○頁

C) 発表論文目録および学会発表目録

論文については、著者名・論文タイトル・雑誌名・発表年（掲載済みの場合には、巻数・ページなども含む）を記載するとともに、アクセプトの場合は発表予定などを記載して下さい。また、投稿中の場合はその旨を記載して下さい。学会発表は、全国規模の学会と国際学会での発表に限り、発表者名・演題名・学会名・日時・場所などを記載して下さい。

＊作成例＊

発表論文目録および学会発表目録

本研究の一部は以下の論文に発表した。

1．○○○○（著者名）共著の場合は全員の氏名を記載
○○○○○○○○○○に関する研究（論文タイトル）
学術雑誌名，巻数・ページ，（発表年）

2．○○○○（著者名）
○○○○○○○○○に関する一考察（論文タイトル）
学術雑誌名，巻数・ページ，（発表年）

3．○○○○（著者名）
○○○○○○に関する○○学的研究（論文タイトル）
学術雑誌名，巻数・ページ，（発表年）

本研究の一部は以下の学会に発表した。

1．○○○○（発表者名）共同発表の場合は全員の氏名を記載
○○○○○○○○○○○○に関する研究（演題名）
学会名（第○回○○○学会），日時・場所

2．○○○○（発表者名）
○○○○○○○○○○○○に関する一考察（演題名）
学会名（第○回○○○学会），日時・場所

3．○○○○（発表者名）
○○○○○○○○○○○に関する○○学的研究（演題名）
学会名（第○回○○○学会），日時・場所

D) 要旨

1．本文は、日本語の場合、2,500 字～3,000 字程度、英語の場合は、1,000～1,200 語にまとめる。

２．作成にあたっては、次の事項毎（又は【方法と結果】等組み合せ）にまとめ作成【背景と目的】【対象と方法】又は【材料と方法】【結果】【考察】【結論】等

＊作成例＊

要旨

【背景と目的】　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○

【対象と方法】又は【材料と方法】　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○

【結果】　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○

【考察】　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○

【結論】　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

E）略語表

略語の使用は望ましくありませんが、やむを得ず使用する場合には、本文中で最初に使用する時にフルネームで記述し、括弧書きで略語を記載すること。略語表には本文で使用した略語をアルファベット順に一括して掲載し、各略語のフルネームを記載して下さい。

＊作成例＊

本文中および図中で使用した略語は以下のとおりである。

LCM	laser capture microscopy
miRNAs	microRNAs
UTR	3’-untranslated region
	・

F) 緒言

①論文の背景（本研究の重要性・意義、テーマに関連した事項の説明など)、②テーマに関連して、何がわかっていて何がわかっていないのか、③前２項を踏まえて、この研究では何を明らかにしようとするのか、などの点を中心に詳細に記載して下さい。

[注意]

テーマが複数存在していて、各テーマについて独立して記載する必要がある場合には、全体の緒言を記載した後、第一章、第二章、----のように分けて、各章に次の項目を設定して下さい。①章のタイトル、②緒言（この章に関連したもの)、③方法、④結果、⑤考察。第二章以下では、前の章の研究との関連を論理的に説明して下さい。

G)方法

この論文に記載されている研究方法を読めば、研究・実験が再現できる程度に詳しく、必要に応じて図、表、写真等を用いて詳しく記載して下さい。他の論文やマニュアルを参照のことという記載は原則として不可です。使用した実験機械・機器、試薬などはメーカー等も明記して下さい。

なお、研究のために実施した実験や遺伝子組換え実験などについては、倫理審査を受けた場合はその結果とともに、各種の規程・指針等（「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」「北海道大学動物実験に関する規程」、「北海道大学遺伝子組換え実験等安全管理規定」など）に従って実施したことを明記して下さい。また、人を対象として実施した研究に関しては、説明同意に関する事項もここに記載してください。

H)結果

サブタイトルをつけて、いくつかの内容に分けて述べて下さい。使用する図の解像度は、白黒 600dpi 以上、カラー300dpi 以上として下さい。論文中の図・表については本文中の当該事項を記述している部分に掲載し、巻末にまとめて載せることはしないでください（巻末に項目を加え、付録データを載せることは可)。また、図では下、表では上に、図表番号及び説明を加えて下さい。なお、表は、論文に投稿したものをそのまま画像として貼付せず、わかりやすいものに作り直して下さい。

[注意]

大学院在籍中に行った研究結果（基礎実験、パイロット実験、スクリーニング実験など直接論旨に関わっていないものも含む）について記述して下さい。

＊作成例＊

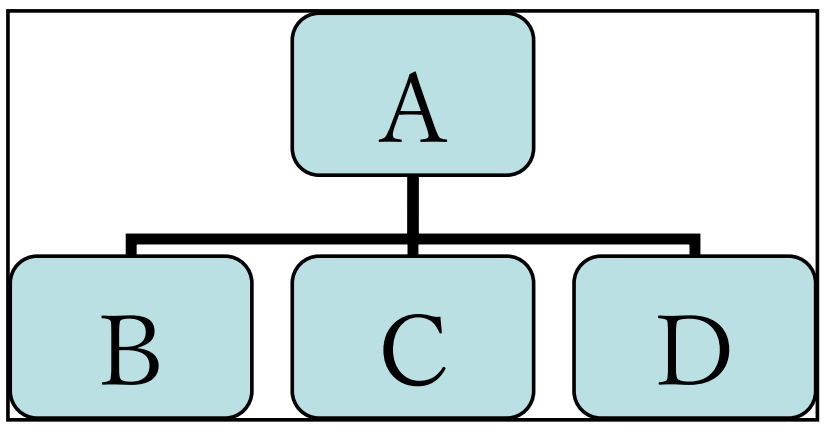


図 1 ○○○○

△△△・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

表 1　○○○○

A	B	C	D
a			
b			
c			
d			
e			
f			

I）考察

考察では、本研究で得られた新知見および新知見に至った根拠、先行研究との比較等を論理的に論じて下さい。また、問題点などについても論じて下さい。

J)結論

①本研究全体から得られた新知見を箇条書きにまとめて下さい。さらに、②新知見の意義、③本研究で得られた新知見から今後どのような研究が展開されうるか、④今後の課題、などを１～２ページ程度で簡潔に述べて下さい。

K）謝辞

修士論文に、自身が国や公立の研究機関から研究費を受けて行った研究成果が含まれる場合は、作成例のように記載して下さい。

＊作成例＊

日本語 : 本研究（の一部）は、△△△△△△奨励費 JP12345678 の助成を受けたものである。
英　語 : This work was supported by grant JP12345678 from △△△△△△.

L）　利益相反

利益相反の開示の目的は、利益相反を加味して結果を解釈することであり、論文審査に公平な判断を行うことです。研究にバイアスをもたらす可能性のあるすべての利害関係（金銭的・個人的関係）について記載する必要があります。例えば、企業等からの研究費、寄付金、物品の提供などについて記載してください。

＊作成例＊

（例１）

日本語：開示すべき利益相反状態はない。

英　語：The author declares no conflict of interest.

（例２）

日本語：この研究の○%は×××からの支援により行った。

英　語：About ○% of this study was supported by ×××.

（例３）

日本語：この研究で使用した機器（△△△）は×××から提供を受けたものである。

英　語：The author received equipment (△△△) for research from ×××.

M) 引用文献

引用文献は、ハーバード方式（著者名・発行年方式／姓年式）に従って記述してください。すなわち、引用文献には番号を付さず、本文中の引用箇所に著者名と発行年（著者、年）を記載し、巻末の文献リストでは、著者の氏名順（英語の場合はアルファベット、日本語の場合は五十音順)、発行年順で記載してください。氏名及び発行年が同一の場合は、発行年の西暦のあとに「XXXXa」、「XXXXb」などとアルファベットを付して区別してください。また、日本語の文献については、英語の文献と区別することなく、同じように取り扱った上で、文献リストでは英語の文献のあとに続けて記載してください。

なお、引用文献が未掲載、投稿中、要約、私信などの場合は文献リストには記載せず、本文中にのみ記載してください。

＊作成例＊

【本文中の文献引用】

本文中の引用箇所に著者名と発行年（著者、年）を記載する。なお、複数の文献の間は「セミコロン（;)」で区切る。

著者が２名以下の場合は全員記載する。

（Wittman、 2009; Pedersen and Tsai、 2009）

著者が２名を超える場合には、筆頭著者を記述し、欧文著者名では「et al」、邦文著者名では「ほか」を用いて省略する。

（Catalucci et al, 2009；藤岡ほか, 2021）

プレプリントの場合はPreprintとその旨明記する。

（Bai and Bembenek, 2016 Preprint）

・・・(本文)・・・と報告されている（Masuho et al, 2015a；Jiao and Jones, 2015)。種々のワクチンによる脳からのタウまたはAβペプチドの除去は・・・(本文)・・・

【文献リスト（巻末）への記載方法】

1） 雑誌・定期刊行物などの場合

著者名（発行年）論文タイトル．雑誌名 巻，開始頁－終了頁.

① 著者名

（ア）姓、名の順に記載し、複数著者の場合はカンマで区切る。

（イ）欧文著者名の場合、名（およびミドルネーム）はイニシャルで記載。

- 著者が 10 名以下の場合、最後と最後から２番目の著者の間に「and」を記す。

② 掲載年は著者名の後に記載する。例：Yin D and Tuthill D (2000)

③ 欧文雑誌名を略誌名で記載する場合は，NLM 方式（Pub Med で用いられている）を用いる。例：J Exp Med, Proc Natl Acad Sci USA

④ 続いて、巻，最初のページ-最後のページ．の順に表記する。なお、巻の後ろにコンマを置き、号の記載は不要。最初と最後のページ数は省略せずに「-」でつないで記す。例：191, 1423-1428.

⑤ 論文の識別子情報（DOI や PMID など）の記載は不要。

Cleary JP, Walsh DM, Hofmeister JJ, Shankar GM, Kuskowski MA, Selkoe DJ and Ashe KH (2005) Natural oligomers of the amyloid-β protein specifically disrupt cognitive function. Nat Neurosci 8, 79-84.

北野大地，山田太郎，本田一郎（2005）アルツハイマー病の新しい治療法．日本薬理学雑誌 125, 178－84.

※ 著者が 10 名を超える場合は 10 名まで記載し、「et al」（邦文著者の場合は「ほか」）を用いて省略する。この場合９番目と 10 番目の著者名の間の「and」は不要。

Abu Dayyeh BK, Bazerbachi F, Vargas EJ, Sharaiha RZ, Thompson CC, Thaemert BC, Teixeira AF, Chapman CG, Kumbhari V, Ujiki MB, et al (2022) Endoscopic sleeve gastroplasty for treatment of class 1 and 2 obesity (MERIT): a prospective, multicentre, randomised trial. Lancet 400, 441-451.

※ 著者名と発行年が同一の場合はアルファベットを付して区別する

Masuho I, Ostrovskaya O, Lramer GM, Jones CD, Xie K and Martemyanov KA (2015a) Distinct profiles of functional discrimination among G proteins determine the actions of G protein-coupled receptors. Sci Signal 8, 118-123.

Masuho I, Martemyanov KA and Lambert NA (2015b) Monitoring G protein activations in cells with BRET. Methods Mol Biol 1335, 107-113.

２） 単行本の場合

① 単行本全体を引用する場合

著者名（発行年）本のタイトル（出版社：所在地）

Dutton GJ (1980) Glucuronidation of Drugs and other Compounds (CRC Press: Boca Raton, FL)

② 章あるいは一部分を引用する場合

著者名（発行年）章のタイトル．In 本のタイトル，編集者名，ed（出版社：所在地）開始頁－終了頁

（和文図書の場合は本のタイトルの前の「In」を省略し，ed に変えて「編」を用いる）

Reuss L (2000) Basic mechanisms of ion transport. In The Kidney. Physiology and Pathophysiology, Seldin D and Giebisch G, eds (Lippincott Williams & Wilkins: Baltimore, MA, USA) pp. 85-106. 大場雄介（2019）細胞内情報伝達．標準生理学（第９版），河合康明，黒澤美枝子，鯉淵典之，伊佐正編（医学書院：東京）47-58

３） Web サイトの場合

著者名（掲載／作成年）ウェブページのタイトル．In ウェブサイトの名称，URL（閲覧／参照日）

※ 上記情報のうち入手不可能な情報については省略してもやむを得ないが，URL と閲覧日は必須。

北海道大学附属図書館学習支援企画担当（2021）アカデミックスキルガイド 5-2 引用・参考文献の記述スタイル．In 北海道大学付属図書館，https://www.lib.hokudai.ac.jp/uploads/2021/07/5-02_v1.1.pdf（2023 年 2 月 6 日参照）

４） プレプリントサーバーの場合

著者名（年）論文タイトル．アーカイブ名 DOI（PREPRINT/プレプリント）

Satoh AO, Fujioka Y, Kashiwagi S, Yoshida A, Fujioka M, Sasajima H, Nanbo A, Amano M and Ohba Y (2012) Interaction Between Phosphoinositide 3-Kinase and the VDAC2 Channel Tethers Endosomes to Mitochondria and Promotes Endosome Maturation. bioRxiv doi: https://doi.org/10.1101/2021.01.18. 427063 (PREPRINT)

※ 以下の英文学術雑誌はハーバード方式で引用文献を記載していますので適宜ご参考ください。（令和８年９月現在）

・EMBO J　・J Exp Med　・J Cell Biol